

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【男子】最終節 最終日

開催日時 10 月 18 日 (日) 会場 立命館ホリーズスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00~

立命館大学ホリーズ	8	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \\ 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	駿河台大学
9 勝 2 分 2 敗 勝点 29				勝点 6 2 勝 0 分 11 敗

第2試合 11:40~

名古屋フラーテル	2	$\begin{pmatrix} 1-2 \\ 0-2 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	4	天理大学ベアーズ
11 勝 1 分 1 敗 勝点 34				勝点 32 10 勝 2 分 1 敗

【女子】最終節 最終日

第3試合 13:20~

南都銀行SHOOTING STARS	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	山梨学院CROWNING GLORIES
1 勝 1 分 1 敗 勝点 4				勝点 0 0 勝 0 分 3 敗

第4試合 15:00~

ソニーHC BRAVIA Ladies	2	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	コカ・コーラウエストレッドスパークス
3 勝 0 分 0 敗 勝点 9				勝点 4 1 勝 1 分 1 敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 8 $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \\ 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$ 0 駿河台大学

勝点 29 勝点 6

9 勝 2 分 2 敗 2 勝 0 分 11 敗

得点	立命→6分津田 9分津田 22分木下 34分渡辺 36分永井 53分河野 56分大橋 58分大橋		
	駿河台→		
戦評	駿河台のセンターパスで試合開始。開始早々の6分、立命館は#8津田がヒットシュートで決めて先制すると、続く9分にもゴール前のこぼれ球を#8津田が決めて突き放す。2Qに入り22分にもドリブルで持ち込んだ#4木下がヒットシュートを決めて3点のリードとする。対する駿河台もロングパスでチャンスを作るが、得点することが出来ない。後半に入っても立命館のペースで試合が進み、3Qに2点、4Qに3点をそれぞれ加点し、8-0の大差で立命館が勝利した。		
テクニカルオフィサー	千野 雅人	アンパイア	元宗 宏寿
ジャッジ	松原 久/林 優介/福田 貴也		児玉 茂樹

第2試合

名古屋フラーテル 2 $\begin{pmatrix} 1-2 \\ 0-2 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 4 天理大学ベアーズ

勝点 34 勝点 32

11 勝 1 分 1 敗 10 勝 2 分 1 敗

得点	名古屋→1分橋 52分吉原		
	天理→3分福田 11分黒川 18分瀧澤 21分落合		
戦評	天理のセンターパスで試合が開始された。開始早々の1分、名古屋は#13山下から#17橋へ繋ぎリバースシュートで先制する。すかさず天理も3分、#10石川のパスを受けた#17福田が力強いリバースシュートで同点に追いつく。勢いに乗った天理は11分、PCから#8黒川がフリックを決め、勝ち越しに成功する。2Qに入っても天理の勢いは衰えず18分、#11瀧澤が左サイドからリバースシュートで3点目、21分にも#6落合が押し込み4点目を奪い、リードを3点に広げる。巻き返しを図る名古屋だが、天理守備陣の堅い守りに阻まれ得点を奪えない。4Qに入り52分、名古屋は右サイドのセンタリングから#12吉原のタッチシュートで2点目を奪うが反撃もここまで。そのまま試合は終了し、4-2で天理が名古屋に勝利した。		
テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	光田清治/若林昂太/小谷朋也		高橋 英行

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

南都銀行SHOOTING STARS 1 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 0 山梨学院CROWNING GLORIES

勝点 4

勝点 0

1 勝 1 分 1 敗

0 勝 0 分 3 敗

得点	南都→34分野村		
	山梨→		
戦評	山梨学院のセンターパスで試合開始。序盤から激しい攻防が繰り広げられ、一進一退の展開。両チームPCのチャンスを得るが得点に結びつけることができない。徐々に南都の攻め上がる時間帯が増えてくるが、山梨も決定機を与えないディフェンスで膠着状態が続く。試合が動いたのは後半に入った34分、南都はPCから#9野村がブッシュシュートを決め、待望の先制点を奪う。追いつきたい山梨学院は#12河村のドリブルを攻撃の起点として攻め上がるが、南都ディフェンスが決定機を与えない。4Q終盤には、あわや同点ゴールというシーンもあったが最終判定はノーゴール。そのまま試合が終了し、1-0で南都が勝利し3位となった。		
テクニカルオフィサー	千野 雅人		アンパイア
ジャッジ	松原久/勝又舞/林夏実		根岸 郁美 我妻 順子

第4試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 2 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 0 & -0 \\ 1 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 9

勝点 4

3 勝 0 分 0 敗

1 勝 1 分 1 敗

得点	ソニー→37分山本 59分中島		
	コーラ→		
戦評	ソニーのセンターパスで試合が開始。序盤から両チーム積極的にチャンスをつかみ、攻守の切り替えが早い展開でゲームは進む。お互いPCを獲得するが、それぞれの守備陣の堅い守りでスコアは動かない。ミスの許されない緊張感のある試合展開の中、両チーム無得点で前半を折り返す。試合が動いたのは後半に入った37分、ソニーはPCのシュートでディフェンスに当たって浮き上がったボールを#20山本がうまく押し込み先制する。優勝するには勝つしかないコカ・コーラは、追いつくべく猛攻を仕掛けるが、ソニー守備陣の堅い守りに阻まれ得点出来ない。逆に59分、ソニーはライトのドリブルから最後は#8中島がタッチシュートを決め2点目を奪い試合を決定づける。そのまま2-0でソニーが勝利、2年ぶりの優勝を決めた。		
テクニカルオフィサー	今庄 充世		アンパイア
ジャッジ	澤田昌宏/荻谷和代/永井なつ美		相馬 知恵子 山田 恵美

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ

【女子】最終節 最終日

開催日時 10月18日(日) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 10:00～

駿河台大学LADYBIRDS	3	$\begin{pmatrix} 1-1 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	1	聖泉大学
1 勝 0 分 0 敗 勝点 3				勝点 0 0 勝 0 分 1 敗

第2試合 11:40～

グラクソ・スミスクラインOrangeUnited	3	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 1-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$	1	立命館大学ホリーズ
1 勝 0 分 2 敗 勝点 3				勝点 0 0 勝 0 分 3 敗

第3試合 13:20～

東海学院大学	0	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 0-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	天理大学ベアーズ
2 勝 0 分 1 敗 勝点 6				勝点 9 3 勝 0 分 0 敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

駿河台大学LADYBIRDS 3 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 1 聖泉大学

勝点 3

1	PC	1
6	シュート数	2

 勝点 0
1 勝 0 分 0 敗

6	シュート数	2
---	-------	---

 0 勝 0 分 1 敗

得点	駿河台→8分下向、29分松本、57分山本		
	聖泉→11分荒木		
戦評	駿河台大のセンターパスにより、試合が開始された。8分、#7下向がGKとの1対1を上手くかわし、リバースヒットシュートで先制点をあげる。対する聖泉大も、11分#6荒木がリバースヒットシュートで同点ゴールを決め、試合を振り出しに戻す。そのまま、第1Qが終了する。第2Q、29分駿河台大の#21松本がタッチシュートを決め、1-1の均衡を破り2-1とリードする。駿河台がリードしたまま、第3Qを迎える。第3Q、両者一步も譲らず、激しい攻防が続くが、両者とも得点を上げることは出来ない。第4Q、振り出しに戻すべく聖泉大が果敢に攻め込むが、駿河台大の好守備により、シュートを阻まれる。対する駿河台大は、55分#15がタッチシュートを決め、追加点を上げ、3-1とリードを広げた。その後も駿河台大が守り切り、3-1で勝利を収めた。これにより、駿河台大学LADYBIRDSがリーグ第9位、聖泉大学がリーグ第10位となった。		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	西山宏明
ジャッジ	鹿取裕美子、伊豆味櫻、井上一美		内田太

第2試合

グラクソ・ミスクリンOrangeUnited 3 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 1-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学ホリーズ

勝点 3

6	PC	6
10	シュート数	7

 勝点 0
1 勝 0 分 2 敗

10	シュート数	7
----	-------	---

 0 勝 0 分 3 敗

得点	GSK→19分山中、35分片峯、49分片峯		
	立命館→49分笠丸		
戦評	立命館大のセンターパスにより試合が開始された。第1Q両者一步も譲らない、一進一退の攻防が続き0-0で第1Qを終了した。第2Q試合が動いたのは19分、PCを獲得したGSK#4山中の豪快なヒットシュートから先制点を決めた。立命館大も果敢に攻めるが、DF陣の堅い守備に阻まれて得点することが出来ない。1-0となり、第2Qを終える。第3Q、35分GSKはスピードのある攻撃から、#8片峯がリバースヒットシュートを決め、2-0とする。第4Q、勢いに乗ったGSKは49分、#8片峯が再びシュートを決め3-0とする。しかしその直後、立命館大は早いパス攻撃から、#11笠丸がゴールを決め3-1とする。そのまま試合は終了し、3-1でGSKが勝利した。その結果、グラクソ・ミスクリンが第7位、立命館大学ホリーズが第8位となった。		
テクニカルオフィサー	我妻活美	アンパイア	壽山由紀
ジャッジ	関根由美子、飯田育子、要石里沙子		水谷理恵

第3試合

東海学院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

勝点 6 勝点 9
 2 勝 0 分 1 敗 3 勝 0 分 0 敗

4	PC	0
9	シュート数	3

得点	天理→35分江村		
戦評	東海学院のセンターパスにより試合が開始された。試合開始5分、東海学院はPCを獲得するがチャンスをものに出来ない。両者一步も譲らず一進一退の攻防が続く。第2Q、開始3分東海学院がPCを獲得するも中村のナイスセーブでゴールをわることが出来ない。両者激しい攻防の中、得点出来ず第2Qが終了した。第3Q、試合が動いたのは開始5分天理大#29森の早いリスタートから左へパスし、#7江村の力強いダイレクトシュートが決まる。第4Q1-0と天理大がリードの中両者攻防が続く。第4Q、6分東海学院を獲得するが得点に繋がらないまま試合が終了し、1-0で天理大学ベアーズが勝利した。これにより天理大学ベアーズがリーグ第5位、東海学院大学がリーグ第6位となった。		
テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	藤原真由美
ジャッジ	松葉美穂、松崎鼓、鹿取裕美子		小原直也